

四国 8 の字ネットワークの整備促進

四国 8 の字ネットワークの整備促進

提案・要望先 国土交通省・財務省

提案・要望の要旨

- ◎ 四国横断自動車道について
 - ・新直轄区間の須崎新荘～窪川間の早期完成を図ること
 - ・新直轄方式による整備の事業予算を、他の道路事業予算に影響させないこと
 - ◎ 四国横断自動車道と連携する
 - ・須崎道路、窪川佐賀道路、中村宿毛道路の早期完成を図ること
 - ◎ 高知東部自動車道について
 - ・高知市～芸西村間の早期完成を図ること
 - ・芸西村～安芸市間の早期事業化を図ること
 - ◎ 地域高規格道路の阿南安芸自動車道について
 - ・大山道路の早期完成を図ること
 - ・東洋町～奈半利町～安芸市間において、大山道路及び北川奈半利道路を除く区間の整備手法の早期決定及び早期事業化を図ること
- 以上のことから、受益者負担という制度趣旨に則り、引き続き道路特定財源の有効な使途を図ること

現状と課題

【現 状】

四国 8 の字ネットワークは、地域の強みを活かし地域間競争力を高めるとともに、近い将来確実に発生することが想定されている東南海・南海地震など災害時の緊急輸送路や第三次医療機関への救急搬送路となる必要不可欠な社会基盤です。

しかしながら、四国 8 の字ネットワークを形成する県内の高規格幹線道路等の整備は四国の他の 3 県に比べて大きく遅れています。

【課 題】

- ・新直轄事業が応分な予算配分で整備が進み始めた反面、他の直轄・補助事業予算が目減りしている。
- ・三位一体の改革を受け、地方交付税等をはじめとして県の財政状況が今後ますます厳しくなることが予想される。
- ・高規格幹線道路等のネットワークが未整備のため、豊かな地域資源(水産、農産物、海洋深層水)を地域の活力に転換できない。また、豊かな自然(四万十川、足摺岬、室戸岬)を活用しきれない。

これまでの取り組み状況等

- 四国開発幹線自動車道建設期成同盟会（H15.6.13）
 - 四国8の字ネットワーク整備促進
 - 国等に整備促進を要望

- 東南海・南海地震に備える沿岸4県シンポジウム（H15.7.14）
 - 津波の被災状況予測をもとに、高速道路の果たす役割や整備のあり方を討論
 - 「命の道」高速道路の早急な整備に向けての提言

- 東南海・南海地震に備える沿岸4県高速道路整備促進大会（H15.11.26）
 - 新直轄方式の選定は、地震・津波に備えた高速道路整備の重要性、緊急性を評価することを提言
 - 整備計画区間外についても、「東南海・南海地震対策大綱」に基づき、早急に整備計画を策定し整備することを提言

- これからの高速道路を考える地方委員会（H15.12.22）
 - 高速道路整備は、国家的視野から国が主体的に進めるよう提言
 - 新直轄方式について整備速度の確保を提言

- 四国開発幹線自動車道建設期成同盟会（H16.12.22）
 - 国等に整備促進を要望

【本件に関する連絡先】

	高知県土木部道路計画課	高知県東京事務所
所在地	〒780-8570 高知市丸ノ内 1-2-20	〒105-0001 港区虎ノ門2-6-4 虎ノ門11森ビル 8階
TEL	088-823-9835	03-3501-5541
FAX	088-823-9232	03-3501-5545
E-mail	170701@ken.pref.kochi.lg.jp	120102@ken.pref.kochi.lg.jp
担当者	道路計画課長 久保 博道	
職・氏名	高速道路班長 森木 浩二	主幹 黒岩 章